

実行委員会 2026年7月 現在			後 援		
【委員長】 【委員】	前川 徹	東京通信大学 情報マネジメント学部 教授	●経済産業省 ●金融庁 ●厚生労働省 ●国土交通省 ●消費者庁 ●総務省 ●農林水産省	●公益社団法人 経済同友会 ●一般社団法人 国際標準化協議会 ●国立研究開発法人産業技術総合研究所 ●JIS登録認証機関協議会 ●国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 ●独立行政法人 製品評価技術基盤機構 ●中央労働災害防止協会 ●独立行政法人 統計センター ●株式会社 日刊工業新聞社 ●一般財団法人 日本科学技術連盟 ●日本クオリティ協議会 ●一般社団法人 日本経済団体連合会 ●日本商工会議所 ●公益財団法人 日本生産性本部 ●一般社団法人 日本品質管理学会 ●一般社団法人 品質工学会 ●モノづくり日本会議	
	木澤 正	高圧ガス保安協会 ISO審査センター 調査役			
	黒田 健一	一般社団法人 日本電機工業会 新事業・標準化推進部長			
	越川 哲哉	一般社団法人 日本鉄鋼連盟 標準化センター事務局 事務局長			
	高橋 徹	公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 元理事			
	富岡 伸一	サントリーマーケティング＆コマース株式会社 品質保証推進部 技術顧問			
	中野 奈津美	株式会社高島屋 宣伝部 宣伝担当部長			
	根本 明欣	住友化学株式会社 レスポンシブルケア部(品質保証)担当部長			
	福永 敬一	一般財団法人日本規格協会 JSAグローバルリサーチセンター所長			
	星川 安之	公益財団法人 共用品推進機構 専務理事・事務局長			
	村川 賢司	村川技術士事務所 所長			
	山本 宏史	TOTO株式会社 技術本部 生産技術推進部 製造革新推進G 参与			
	湯浅 勝浩	公益財団法人 日本生産性本部 顧客価値創造センター 部長			
	関野 武志	経済産業省 イノベーション・環境局 基準認証調査広報室長			
	齋藤 剛	国立研究開発法人産業技術総合研究所 企画本部 知財・標準化推進部 標準化推進室 標準化オフィサー			
【オブザーバー】	稲垣 勝地	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 イノベーション戦略センター(TSC) 標準化・知財戦略ユニット 参事・首席研究員			

協 賛		
●一般財団法人 エンジニアリング協会 ●一般財団法人 化学物質評価研究機構 ●化成工業協会 ●紙パルプ技術協会 ●一般社団法人 火力原子力発電技術協会 ●公益財団法人 共用品推進機構 ●一般社団法人 軽金属製品協会 ●一般財団法人 建材試験センター ●高圧ガス保安協会 ●一般社団法人 産業環境管理協会 ●JIS懇話会 ●公益社団法人 自動車技術会 ●公益社団法人 消費者関連専門家会議 ●一般社団法人 情報科学技術協会 ●一般社団法人 情報処理学会 ●一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会 ●ステンレス協会 ●公益社団法人 精密工学会 ●一般社団法人 セーフティグローバル推進機構 ●公益社団法人 石油学会 ●石油連盟 ●一般社団法人 セメント協会 ●全国生コンクリート工業組合連合会 ●公益財団法人 鉄道総合技術研究所 ●一般財団法人 電気安全環境研究所	●一般社団法人 電気学会 ●一般社団法人 電子情報技術産業協会 ●一般社団法人 電子情報通信学会 ●一般社団法人 電池工業会 ●一般社団法人 日本アルミニウム協会 ●一般財団法人 日本ウエザリングテストセンター ●一般社団法人 日本運搬車両機器協会 ●一般社団法人 日本エネルギー学会 ●公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会 ●一般社団法人 日本化学工業協会 ●一般社団法人 日本環境測定分析協会 ●一般社団法人 日本機械学会 ●日本金属継手協会 ●一般社団法人 日本金属熱処理工業会 ●一般社団法人 日本クレーン協会 ●公益社団法人 日本経営工学会 ●一般社団法人 日本計量機器工業連合会 ●一般社団法人 日本計量振興協会 ●日本水晶デバイス工業会 ●公益社団法人 日本下水道協会 ●一般社団法人 日本建材・住宅設備産業協会 ●一般社団法人 日本建設業連合会 ●一般社団法人 日本航空宇宙工業会 ●一般社団法人 日本工作機械工業会 ●一般社団法人 日本工作機器工業会	●一般社団法人 日本ゴム工業会 ●公益社団法人 日本材料学会 ●一般社団法人 日本産業機械工業会 ●一般社団法人 日本産業車両協会 ●一般財団法人 日本情報経済社会推進協会 ●一般社団法人 日本照明工学会 ●公益社団法人 日本食品衛生学会 ●公益社団法人 日本食品衛生協会 ●一般社団法人 日本伸銅協会 ●公益社団法人 日本水道協会 ●公益社団法人 日本設計工学会 ●公益社団法人 日本騒音制御工学会 ●一般社団法人 日本塑性加工学会 ●日本暖房機器工業会 ●一般社団法人 日本鉄鋼協会 ●一般社団法人 日本鉄鋼連盟 ●一般社団法人 日本鉄道車輛工業会 ●一般社団法人 日本電気協会 ●一般社団法人 日本電気計測器工業会 ●一般社団法人 日本電機工業会 ●一般社団法人 日本電気制御技術工業会 ●一般社団法人 電気設備学会 ●一般社団法人 日本電線工業会 ●一般社団法人 日本時計協会 ●一般社団法人 日本トライボロジー学会

一般申込	
11,000円(税込)	
維持会員の方	
ご加入1口につき1名様	無 料 ※8月上旬頃に招待のご案内をいたします。
口数以上のお申込	5,500円(税込)／1名様

※有料のお申込の場合は、請求書をお送りしますので、請求書に記載の日にちまでにお振込ください。尚、欠席された場合にも原則として返金はいたしませんので、予めご了承ください。

維持会員のご案内	
維持会員制度は、当協会の事業目的に対してご理解いただける方に、私どもが取組む標準化推進活動をご支援いただくための制度です。当協会は、会員の皆さまとのコミュニケーションを深め、会員の皆さまから、より一層のご支援が得られるような活動に取組んでまいります。皆さまの維持会員制度へのご参加を、お待ち申し上げております。 [会費]1口につき年額2万円(不課税) [特典]●特別割引にて規格をご購入いただけます。 ●当協会主催の品質管理及び標準化に関する講習会・セミナーに特別割引にてご参加いただけます。 ●当協会主催の「標準化と品質管理全国／地区大会」に1口につき1名様を無料でご招待いたします。 ●JSA Webdesk 維持会員専用サービスがご利用いただけます。	詳しくは JSA Webdeskを ご覧ください。 

お申込はWEBで		SQ 大会 2026		検 索		https://webdesk.jsa.or.jp/

日本規格協会 創立80周年記念大会

産業標準化推進月間事業

標準化と品質管理

全国大会 2026

持続可能な未来社会をデザインする

ー 現場の知恵とデジタルの融合で実現する確かな品質と戦略的標準化 ー

標準化と品質管理全国大会は、幅広い分野から多彩な講師をお招きし、毎年10月に開催しております。
各組織の標準や品質に関わる取組みや最新動向、戦略など皆さまの実務にお役立ていただける講演をご用意いたしますので、是非ともご参加くださいますようお願い申し上げます。

全国大会(東京)
10月13日(火) 9:50~17:15
(終了後、意見交換会・懇親会を実施予定)

都市センターホテル

経済産業省主催 産業標準化事業表彰 特別シンポジウム

10月14日(水) / 都市センターホテル

お申込みされた方は、後日、講演アーカイブ動画を無料でご視聴いただけます(許諾を得た講演のみ)

会 場

都市センターホテル 東京都千代田区平河町2-4-1

アクセス

- 東京メトロ 有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町」駅
4番・5番出口より徒歩約4分、9a番出口・9b番出口より徒歩約3分
- 東京メトロ 有楽町線「麹町」駅 1番出口より徒歩約4分
- 東京メトロ 丸ノ内線・銀座線「赤坂見附」駅 D出口より徒歩約8分

公共交通機関でのご来場にご協力をお願いいたします。

標準化と品質管理 全国大会 2026 プログラム

9:50
～
10:00

主催者挨拶・開会宣言

基調講演 I

今後の基準認証政策について

10:00
～
10:45

経済産業省
イノベーション・環境局 基準認証政策課長
宮本 賢一

経済産業省ではこれまで、「日本型標準加速化モデル」に基づき基準認証政策を進めてきた中、今後は、高市総理が掲げた「新技術立国」の実現のために、「①標準（ISO/IEC等）を通じた国内外市場の開拓・確保」、「②標準（JIS規格）を活用した国内需要の喚起」、「③認証の取得による海外市場の開拓・確保」の3つの視点でさらに政策を推進していきます。本講演では、こうした政策の動向や今後の展望についてお話しします。

10:50
～
11:35

基調講演 II

生成AIの進展と今後の潮流

株式会社松尾研究所
取締役副社長
金 剛洙

本講演では、現在の生成AIブームを背景に、急速に進化するAIモデルの高度化と軽量化を軸とし、世界各国で繰り広げられているグローバルな開発競争の概要を解説します。さらに、AIエージェントやAIがデジタル空間を超えて現実世界へと拡張するフィジカルAIなど、最新のAI技術トレンドを解説し、今後の展望について考察します。また、製造業におけるAI活用の最新事例についても紹介します。

11:40
～
12:00

標準化貢献賞表彰式

12:50
～
13:40

講演 1 経営層
経営改革、品質

資本効率向上へ、サッポロの経営改革

サッポロビール株式会社
取締役副社長
松風 里栄子

多くの上場企業が、資本コストや株価を意識した経営を求められています。当社は長年サッポロビールを中核としながら、食品飲料や不動産事業も傘下を持つグループでしたが、収益性や資本効率の低さが課題でもありました。2023年以降、これらの改善に向けた事業ポートフォリオ、資本政策、そして組織や成長戦略に至る改革を実行してきました。その内容や変化を、改革の裏側や定性定量面での変化も交えてお話しします。

講演 5 経営層 管理者層 専門家
標準、新市場創造型標準化、成功事例紹介

紫外線硬化樹脂及び熱硬化樹脂の収縮率連続測定装置の標準化を活用した市場拡大戦略

株式会社アクロエッジ
代表取締役
中宗 憲一

紫外線硬化樹脂および熱硬化樹脂の硬化収縮率・収縮応力は、製品の反りや剥離など品質に大きく影響する重要な指標です。本講演では、収縮率連続測定手法のJIS・ISO標準化に取り組んだ経緯と、その過程での知財戦略やオープンクローズ戦略を紹介します。さらに、標準化を活用した市場形成、企業信頼性向上、国内外展開への取り組みについて実例を交えてお話しします。

15:00
～
15:50

パネルディスカッション

ルールづくりでビジネスに勝つ人材をいかに育てるか～大学とJSAの果たすべき役割～

ルール作りを主導することが求められる現代社会において、大学におけるルール作りや標準化に関する教育の重要性は高まるばかりです。しかし、ルール作りを学ぶ法学部、ビジネスを学ぶ経済・経営学部、産学連携や技術普及を学ぶ工学部などは多く存在していますが、ルールや標準化をビジネスに活用する能力を育成する教育は十分に行われていません。アカデミアと社会との距離がますます近くなるこの時代に、大学に必要な標準化教育とはどのようなものか。その実現に向けて標準化専門機関であるJSAが果たすべき役割とは何か、について議論します。

<モデレータ>
一般財団法人日本規格協会
JSAグローバルリサーチセンターフェロー
(元一橋大学経営管理研究科教授)
江藤 学

<パネリスト(順不同)>
法政大学
大学院公共政策研究科 教授
糸久 正人
中部大学
大学院経営情報学研究所 准教授
伊藤 佳世

宇都宮大学
工学部 基礎工学科 教授
山本 裕紹
山口大学
大学研究推進機構
知的財産センター 准教授
陳内 秀樹

一般社団法人消費生活総合サポートセンター
代表理事・会長
小野 由美子

消費生活総合サポートセンターでは、多様な特性をもつ消費者が直面する社会的課題の解決のため、資格や領域を横断した活動を継続しています。安全・安心に暮らせる社会の実現には、効果的なコミュニケーションの工夫が不可欠です。高齢者や障がい者、子どもたちが直面するトラブルを未然に防ぐ具体策を提案し、アクセシビリティ向上に向けた標準化の重要性と、未来へのヒントをお伝えします。

17:15
～
18:15

【聴講対象】

一般 一般・入門・学生

経営層 経営層

管理者層 管理者層(現場リーダー・管理者候補を含む)

専門家 専門家(品質管理・設計・開発・営業・標準化・アカデミア)

講演 2 一般 経営層 管理者層 専門家
標準、環境

電機産業のGX戦略：可視化(見える化)から「価値化」へIEC/TC111(環境)、IEC63372(削減貢献量)規格開発

一般社団法人日本電機工業会
統括主幹(地球環境政策担当)、環境ビジネス部長
IEC CAB日本代表オルタナイト
齋藤 潔

気候変動に関する従来の企業評価では、事業活動の排出量や削減等リスクの評価が中心で、脱炭素ソリューションによる社会全体へのポジティブインパクトやその機会の評価が十分とは言えない状況です。当会では、電機産業のGX戦略として、企業の社会課題解決力を評価する新たな価値指標「削減貢献量」の国際規格制定を進めると共に、機関投資家等ステークホルダーとの対話を通じて標準化をビジネスへ取り込む活動を推進します。

講演 6 経営層 管理者層 専門家
品質保証、プロセス保証、リスクマネジメント

プロセス保証とリスクマネジメントの統合による事故・トラブル・不正の未然防止

中央大学理工学術院社会理工学部
ビジネスデータサイエンス学科
教授
中條 武志

多くの企業・組織が事故・トラブル・不正の未然防止に取り組んでいますが、十分な効果を得られていません。日本品質管理学会では、このような状況を踏まえてJSQC-Std 62-001:2026「プロセス保証とリスクマネジメントを統合しより効果的な取り組みにするための指針」を発行しました。本講演では、本規格をもとに、その基本的な考え方、具体的な進め方、組織として推進する際のポイントについて解説します。

講演 9 一般 経営層 管理者層 専門家
品質、リサイクル、再生プラスチック

再生プラスチック材によるトラブル事例と対策(エコロジーと信頼性は両立できるのか?)

長岡技術科学大学
技術研究院 特任教授
大武 義人

EUは、自動車向け再生プラスチック利用目標を、2031年には25%以上にすると言っています。しかし、マテリアルリサイクルプラスチックには、既に劣化が進行しているプラスチックの品質の違いに加え、さらに、分子量、共重合比、フィラー等の違いが存在します。また、異物(特に劣化を促進化させる金属)等による短寿命化と物性の不均一が内在しており、信頼性に極めて乏しいのが現状です。本講演では、これらの問題点と対策を実例を挙げて解説すると共に、技術立国・日本の真骨頂を示します。

講演 12 一般
標準、デジタル

標準化で実現する消費者の安全・安心とアクセシビリティ：特性のある消費者の支援とコミュニケーション

一般社団法人消費生活総合サポートセンター
代表理事・会長
小野 由美子

消費生活総合サポートセンターでは、多様な特性をもつ消費者が直面する社会的課題の解決のため、資格や領域を横断した活動を継続しています。安全・安心に暮らせる社会の実現には、効果的なコミュニケーションの工夫が不可欠です。高齢者や障がい者、子どもたちが直面するトラブルを未然に防ぐ具体策を提案し、アクセシビリティ向上に向けた標準化の重要性と、未来へのヒントをお伝えします。

講演 3 一般 専門家
標準、品質、安全

公共トイレの品質・多様性と標準

1級建築士事務所 設計事務所ゴンドラ
所長
小林 純子

公共トイレが必要とする品質は、安全性・清潔性・使いやすさです。また、それは利用する人の多様性、設置する場所等により、受け止める快適さが変わります。即ち、極端に言えば、個別的快適さが必要なのです。個々人にとって、また場所によっても異なる清潔さや安全性、使いやすさを、どう実現するかもあります。その中で、標準化とは何を指すのか、そのための意味はなにか、トイレを通して考えます。

講演 7 一般 経営層 管理者層 専門家
技術革新、国際認証制度

新たなビジネス展開に貢献する国際認証制度の活用と今後の展望

一般社団法人
セーフティローバル推進機構 理事
IEC/IECEE認証管理委員会 副議長
梶屋 俊幸

昨今のAIやロボティクスに代表される技術革新、及びSDGs、サーキュラーエコノミー、サイバーセキュリティなどの世界情勢の変化をタイムリーに反映し健全なグローバル経済に貢献すべく、ISOやIECの国際標準化機関は技術標準や適合性評価制度の国際標準化を精力的に進めています。本講演ではこれらの新たな潮流をいち早く紹介するとともに、日本の産業界が今から何を準備し対処すべきかといったヒントを与えます。

講演 10 経営層 管理者層 専門家
品質、AI

AI Agentが変える製造業の品質保証
— DRBFM・FMEA・FTA自動生成と次世代PLMのあり方

株式会社EpicAI
CEO
横山 敬一

設計レビューの構造的限界——リコール原因の3割が設計ミスに起因し、大手メーカーでは年間数千億円もの損失が発生しています。本講演では、DRBFM・FMEA・FTAをAI Agentで自動生成する実装事例を紹介。過去トラブル・法規制・設計思想をAIがエンコードし続ける仕組みを通じ、「品質を下げずに速度を上げる」次世代の製造業品質保証を提示します。

講演 13 管理者層
品質、再発防止、未然防止

モグラたたきの是正からの脱却
～源流のしくみに戻った是正予防～

TOTO株式会社
技術本部 生産技術推進部
製造革新推進G 参与
山本 宏史

多くの現場が「未然防止」を掲げながら再発に苦しむ真因は、ルールを追加する「足し算の対策」による善意の負のスパイラルにあります。本講演ではモグラ叩きの是正から脱却し、製造から源流(製品設計)の仕組みへ遡る実践的アプローチを紹介します。思考を可視化する「PAマトリクス」や学びを「いい話」で終わらせない教育の仕掛け、内部監査の活用など、知識を現場の実践に変える取組みを解説します。

ご注意

- 講演時間・講演タイトル・講演者・会場は都合により変更する場合があります。
- 最新のプログラムは、当会Webサイト(https://webdesk.jsa.or.jp)をご参照ください。
- 各講演は事前予約制ではありません。当日、ご自由に講演をお選びいただくことができます。会場によって満員となる可能性もございますので、あらかじめご了承ください。
- お申し込みされた方は、後日、講演アーカイブ動画を無料でご視聴いただけます。
- 報文集は紙での提供はいたしません。必要に応じてダウンロード・印刷してご持参ください。
- ライブ配信は行いません。

講演 4 一般 専門家
標準、環境、SDGs

船の世界での標準化—社会を支える海上安全・海洋環境保護の国際規格

一般財団法人日本舶用品検定協会
調査研究部 専任部長(国際担当)
宮崎 恵子

四方を海に囲まれた日本の社会を支えている船舶と海洋技術に関する国際規格は、主としてISO/TC 8(船舶及び海洋技術専門委員会)で開発しています。番号が示す通り歴史ある専門委員会ですが、皆様は普段の生活で、船舶や海洋の国際規格のみならず活動についても直接触れることは少ないかと思います。そこで本講演では、船舶海洋分野の標準化等を通して国内産業へ、そして国際的にも日本が貢献している姿を紹介しします。

講演 8 一般 経営層 管理者層 専門家
標準、アクセシブルデザイン、多様性

アクセシブルデザインの標準化の推進
— 合理的配慮との両輪で目指す共生社会

国立研究開発法人産業技術総合研究所
人間情報インタラクション研究部門
副研究部門長
伊藤 納奈

合理的配慮とは現場における個別対応であり、アクセシブルデザインの標準化と相互に関連し、互いの発展のヒントになります。本講演では、この関係性を踏まえ、産業技術総合研究所がこれまでに体系的に開発してきたアクセシブルデザインに関する国際規格(ISO)の概要を紹介します。

講演 11 一般 経営層 管理者層
サービス産業、品質

【人材育成×理念浸透を仕組み化】
サービス品質のばらつきをなくし、自身の成長を感じられる「育成体系づくり」

Bergamot Hospitality
(ベルガモット ホスピタリティ)
代表
岡本 直子

多くの企業では、現場任せの育成や属人化により、提供価値やサービス品質のばらつき、理念の未浸透が起りやすいという課題があります。こうした背景と構造を整理し、理念を軸にした育成の仕組みづくりや、研修体系の不足・拠点間の品質差への対策を示します。理念を現場で体現できる人材を育てる視点を具体例とともにお伝えします。

講演 14 管理者層
JISマーク、品質、審査

JISマーク表示制度
～指摘事項・よい事例等、最新審査情報～

JIS登録認証機関協議会
一般財団法人建材試験センター
製品認証本部 JIS認証課 課長
佐伯 智寛

経済産業省が推進するJIS規格の総ざらいレビューでは、JIS規格と公共調達との連携を強化する検討が進められており、品質と信頼性を客観的に証明し認証する「JISマーク表示制度」の価値や期待は一段と高まっています。本講演では、JIS認証の最新情報や審査現場での指摘・是正事例を共有し、適切な品質管理体制を維持するための実践的なヒントを提供します。 ※16:05～17:15

相談コーナー

10:00
～
16:30

標準化に関する相談ブース(無料)を開設いたします。規格の作成にご興味のある方など、お気軽にお立ち寄りください。